

がん予防、早期発見について私たちと一緒に考えませんか？

—遺伝性腫瘍パネル検査について—

がんは、生活習慣や環境要因、遺伝要因や加齢など、様々な原因が積み重なって発症すると考えられています。

このうち、生まれもった遺伝子の特徴が原因となる部分（遺伝要因）については、採血で調べることが可能です。検査の結果によっては、それぞれに適した予防法、治療法やその後のフォローアップを受けることができます。

遺伝性腫瘍を発症しやすい方には、以下の特徴があります。

- 若くしてがんを発症した人がいる（本人もしくは血縁者）
- 繰り返しがんを発症した人がいる（本人もしくは血縁者）
- 血縁者に特定のがんが多く発生している

原因遺伝子が明らかになっている遺伝性腫瘍の例をお示します。

遺伝性腫瘍の病名	主な腫瘍
遺伝性乳がん卵巣がん症候群	乳がん、卵巣がん、すい臓がん、前立腺がん
リンチ症候群	大腸がん、子宮体がん、胃がん
リ・フラウメニ症候群	骨軟部肉腫、脳腫瘍、副腎皮質がん、乳がん
カウデン症候群	乳がん、子宮体がん、甲状腺がん

ただし、ご家族で上記の様ながんの発症がなくても突然変異でがんを発症しやすい遺伝子を持っている事もありますので、がんについてご心配な方はどなたでもご相談が可能です。

検査をお考えになる場合にはまず遺伝カウンセリング（がん遺伝子パネル検査）外来の予約をお取りください。検査に関して、少しでも不安や疑問に感じるがありましたら、遺伝医療の専門家（臨床遺伝専門医や認定遺伝カウンセラー）がご説明・ご相談いたします。

愛育クリニック 出生前診断科

住所：〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8（芝浦の愛育病院とは別の施設です）

TEL：（代表）03-3473-8310

日時：毎週火曜日 午後

費用：遺伝カウンセリング：30分毎 5千円

アクトリスクケア（31遺伝子）18万円（税別）など

予約：WEB

遺伝カウンセリング（がん遺伝子パネル検査）の予約をお取りください



多遺伝子パネル検査をお考えの方へ

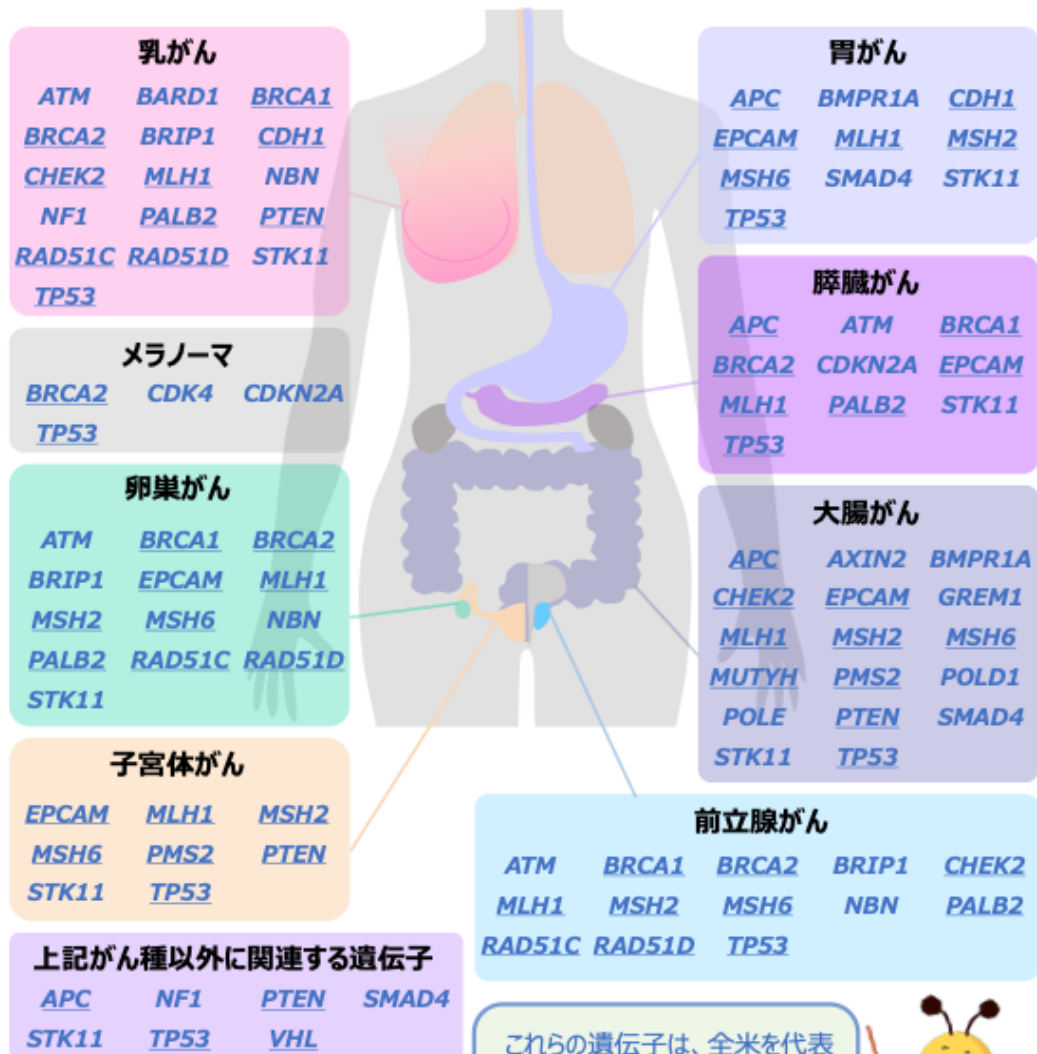
ACTRisk™ Care

解析対象遺伝子

※ 下線はCNV/LGRの検出が可能な遺伝子



ACTRisk Care（アクトリスクケア）は、診療上有用と考えられる、31個の遺伝子を調べることができるよ。下にある8種類のがんを対象としているんだよ。



これらの遺伝子は、全米を代表するがんセンターで結成されたNCCNのガイドラインにも記載されているんだよ。(※3)



References

※3 Genetic/Familial High-Risk Assessment: Breast, Ovarian, and Pancreatic (2020. V1), Genetic/Familial High-Risk Assessment: Colorectal (2019. V3), Prostate cancer (2020. V1), Gastric cancer (2020. V1), Melanoma (2020. V1), Neuroendocrine and Adrenal Tumor (2019. V1), Soft Tissue Sarcoma (2019. V6), Thyroid Carcinoma (2019. V2)